

令和2年度 英語学習実施状況について

金沢市立木曳野小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和3年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	23.0	43.0	21.0	13.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	81.0	10.0	6.0	2.0	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	43.0	41.0	14.0	2.0	0
問4	英語の授業の内容がわかる。	59.0	37.0	4.0	0.0	0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	31.0	45.0	21.0	4.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	24.0	50.0	19.0	7.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	86.0	13.0	1.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	83.0	13.0	3.0	1.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	84.0	11.0	2.0	3.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	40.0	45.0	10.0	4.0	0.0

②来年度に向けての指導改善の具体策(令和3年2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・中学校の英語の学習とのつながりを意識して、指導することを心がける。
- ・ふりかえりの時間を確保するだけでなく、振り返りの視点や児童の学びの変容が見られる内容について児童にフィードバックする。
- ・形式的な反応ではなく、相手に合わせて発話のスピードを変えたり、ジェスチャーを取り入れたりするなど、相手意識を高めていけるように指導する。

③学校関係者評価

・たくさんのお子さんが英語学習に前向きに取り組んでいるように思います。聞き取りも楽しみながらやってみるのもよいかと思えます。まずは楽しくゲーム感覚でも。

・問い1、5、6の「そう思う」の割合がかなり低いのが気になります。現在、英語を学んでいる子どもたちになぜ好きじゃないのかを聞くことで何かしらの問題点が見えてくるような気がします。

・アンケート結果がすばらしい。もう外国語ではなく、必要な語学のような気がする。

・英語の勉強が子どもたちに順調に進んでいる様子が感じます。気になるのは、好きだと思える子どもがやや少な目と感じます。

・英語に対してポジティブに捉えている生徒が多いように見受けられ、うれしく思います。先生方の指導方法が楽しめる内容になっていることが多いのではないかと思います。日本人特有の読み書きが得意で話すことが苦手なことが少し数字に出ているような気がしました。

・現在では、英語は必須となっていて、小学校から英語の教育を受けられるのはすばらしいと思う。できれば外国人教師がいて、生きた英語が学べればもっといい。